

①内容			②多目的広場の利用				
・多目的広場に必要機能	・多目的広場を活用した、にぎわいの創出に何が必要か	・周辺施設との連携	・主体 (どんな人が)	・規模 (何人ぐらい)	・回数 (どれぐらいの頻度で)	・時間帯 (午前・午後・夜間など)	・形態 (どのように使うのか)
1 防災機能をかねそなえた公園的広場ベンチ・テーブルを設置し芝生の広場	屋外のこの場所で種々のイベント等ができる。テント設置やキッチンカー等を持ち込める仕様。	北と南を行き来できる通路の確保	-	-	-	-	-
2 コミュニティー	家族連れ、友人	-	だれでも	-	-	-	てんしばをイメージした「萩しば」 屋台、飲料、食物の販売
3 全て芝生＋トイレ 屋台などイベントの為に電気、ガス、水道等の整備	普段はイベント、子どもが遊べる場所	-	地域の子どもを中心とした 全ての人	-	月数回程度	午前・午後・夜間	その時に応じて
4 全体を開閉可能のテント式アーケードとし、路上に移動可能なテーブル椅子を配置する	-	-	-	-	-	-	-
5 労働とにぎわいの接点となるため誰もが利用できて一体化させる。北の空間とセットで使用可に。	朝市やチャレンジショップ、防災にも活用できるため。水道、電気。	東西南北から行き来できるように	労働者・住民	主体は50人 客別	ほぼ毎日 週数回程度 年に数回	午前	朝市やチャレンジショップの開催 北側イベント時の控え場所・くつろぎ空間、公開技能講習(体験講習・子どもも参加できる)
6 ・通路(北⇄南)一部分でもかまわないので屋根欲しい。 ・広い空間(外灯)以外は要らない。地面はILBで。	・イベントでの出店、キッチンカー ・災害時の待機(物資支給等の列を作る)	特になし	休日昼:地域住民(家族) 平日昼:求職者(労働施設利用者)	いっぱい	月数回程度	午前・午後・夜間 それぞれで使い分け	・休日(土日祝)は許可制でイベント実施可能 ・平日日中は基本的に通路として利用(地域住民を対象とした催しは可)
7 道路的に人々が行きかう機能を維持・促進する事が決定的であるように思う。動線の確保・推進とも言える。植栽でも建物でも屋台のレイアウトでも少なくともその動線を妨害しないようにすることが重要。	-	-	あらゆる人(外国人旅行者も加えた)	なるべく ただ、そうした一過性の 人々に占拠されないように 定住型の人々がくつろぎ やすい空気やレイアウトも必要。	ほぼ毎日	午前・午後・夜間 それぞれ別々の人々が使えるようにすべき。24時間占拠されるような使い方は避けたほうが良い。	-
8 時間に制限なく過ごしたり、時間をつぶしたり、滞留できる場所。住吉区役所にあるようなアーケード？屋根があると良い。	イベントはあると良いし、にぎわいも良いが日常の施設利用者。これから相談に行く人、相談を終えた人などがホッとできる場所になると良い。	特に北側は建物の配置によるが、境界は人の行き来を妨げないものであって欲しい。	日常的に(北・南)施設を利用する人、スポット的に利用する人など	800㎡の想像が難しい 30～50？もっと？	ほぼ毎日	一案として午前5～午後6 24時間使えるのが望ましいが一定管理も必要	①に記入の通り
9 並木道・道あそび空間(バスケットゴールがある・スケボーができる空間・ダンス・砂場・トイレ) 屋台村(キッチンカー含む)	イベント可能インフラ 樹木(両側)にある	-	利用したい人、親子、子ども、労働者	-	ほぼ毎日	-	道あそび 空間 ・(子どもが遊べる)子ども中心 ・親子がくつろげる(芝生) 子どもが出店できる空間 ・若者がくつろげる
10 ・緑(植物・芝生) ・ベンチ(防災グッズ収納可)(屋根あり) ・人がゆっくり出来る場所(座れる)	・流動性があるように・溜まりができない設計、仕組みづくり(個人が長時間居座る) ・常にきれいに(清掃)しやすい設計、北と南の行き来がしやすい通路	-	昼間の居場所のないおっちゃん達の一時的な休憩ゾーン 外から来た人々	-	ほぼ毎日	午前・午後	-
11 飲食・物販	一般的にイベントとかフードコートなど(昼時は弁当の販売等)	思いつきません	地域住民、一般の方	1室50～60人程	週数回程度	午前・午後	・ありきたりですが図書、自習室、PC・スマホ等が相談できるようなスペース。(若い方が集まるかな？) ・防災時の避難スペースとしても利用。